

ケアラーへの気づきの一步に

五国便



明石総局

杉山 雅崇

日常的に家族の介護や家事を担う子どもたちを指す「ヤングケアラー」。国の調査では小学生から大学生の4～6%が該当するとされる。声を上げづらい子どもらを支援しようと、明石市は県内初となる「ケアラー」支援の条例制定を目指している。

「え、オレのことじゃね？」。市がYouTubeに投稿している若者向けの動画で、当事者の男性がヤングケアラーの概念を知った時の衝撃を語る。別の動画では、元当事者の女性が「信頼できる人がいたら、相談していいんだよ」と優しく語りかける。

動画には元当事者として丸



「ケアラー」がテーマの明石市のタウンミーティング（明石市提供）

谷聡子市長も登場する。5歳の時に父親が亡くなり、働く母の代わりに幼い妹を世話した。「体験を公表した後も、

母にどう思われるか不安だった。多くのヤングケアラーも、自分の境遇を言いづらいのでは」と丸谷市長。「孤立しがちだからこそ、地域全体で支える理念と仕組みが必要だ」と強調する。

近年、深刻な実態が知られるようになり、全国で条例を定める自治体が相次ぐ。行政の基本的な姿勢を示す理念条例のため、実効性への疑問から明石市議会内でも「意味があるのか」との声が聞かれる。市は既に専門相談ダイヤルや部署を横断した支援チームを運用するが、問われるのは、支援施策をどのように充実させていくかだ。

記者自身も大学卒業までその存在を知らなかった。もしかしたら、悩んでいた友人がいたかもしれない。条例制定の動きを、まずはそうした気づきの一步にしたい。

左の記事を読んで、次の問いに答えましょう。

1 「ヤングケアラー」とは。本文中の語句を[]に入れて、説明文を完成させましょう。

日常的に[①]の[②]や[③]を担う子どもたちのこと。小学生から大学生の[④]%～[⑤]%が該当するとされる。

2 記事に関して、次の文がそれぞれ正しいければ○、間違っていれば×をつけましょう。

- ① 明石市では昨年ヤングケアラー支援の条例が制定された。 []
- ② 明石市の丸谷市長も、子ども時代にヤングケアラーだった。 []
- ③ ヤングケアラーは、信頼できる人がいたら相談していい。 []
- ④ ヤングケアラーは孤立しがちだから、支援が必要だ。 []
- ⑤ 杉山記者は10代からヤングケアラー問題に取り組んできた。 []

NIEワークシートのこたえ（2026年9月6日公開）

◆ワークシート「ケアラーへの気づきの一歩に（社会）」

2026.8.23付 朝刊 4面 解答

1 ① 家族 ② 介護 ③ 家事 ④ 4 ⑤ 6

2 ① × ② ○ ③ ○ ④ ○ ⑤ ×

すてっぷあっぷ

★わたしからのひとこと！（記事についての感想や意見を1行で書いてみましょう。）

★100字シート（□にチェック） □記事の要約 □記事に対する感想・意見

[illegible]